

平成26年10月分電力需給状況

需要の概要

平成26年10月分の販売電力量は、20億3千1百万kWh時、前年比 95.7%となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、気温が前年に比べ低めに推移したことによる冷房需要の減や節電による影響などから、前年比 93.7%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、電灯と同様、気温や節電の影響などから、前年比 94.3%となった。

産業用の「大口電力」は、鉄鋼や機械が前年を上回ったものの、繊維や化学が前年を下回ったことなどから、前年比 99.5%となった。

「電灯」等の低圧需要の10月分検針期間は、9月の検針日～10月の検針日の前日までの1ヶ月間であるため、9月中・下旬における使用分の多くは10月分に含まれる。

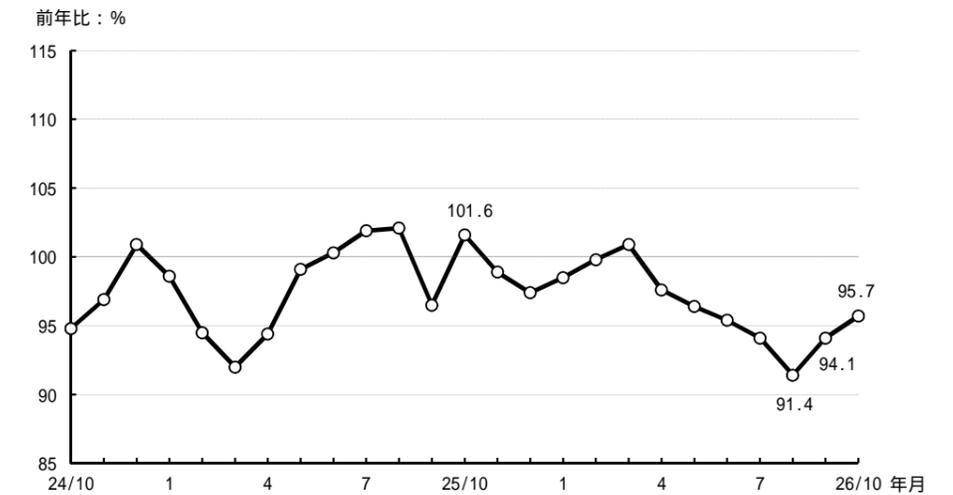
需要実績

		(百万kWh時、%)	
		電力量	前年比
特定規模需要以外の需要	電 灯	631	93.7
	電 力	118	90.6
	計	749	93.2
特定規模需要(自由化対象)	業務用電力	451	94.3
	産業用電力	831	98.8
	うち大口電力	(649)	(99.5)
	計	1,282	97.2
販売電力量 計		2,031	95.7
融 通 等		173	109.7

大口電力の主な産業別内訳

		(百万kWh時、%)		
	電力量	前年比		
		26/10月	26/9月	26/8月
織 維	32	91.2	85.9	85.0
紙・パルプ	94	97.1	98.7	104.5
化 学	96	93.1	98.2	93.3
鉄 鋼	81	108.8	97.8	130.7
機 械	158	102.6	102.9	99.8
そ の 他	188	99.6	100.1	99.2
合 計	649	99.5	99.5	101.0

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



(参考2) 4県都平均気温

	26/9月				26/10月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
実績	25.5	22.9	23.5	23.9	21.9	18.9	17.9	19.5
平年差	0.8	1.7	0.9	0.6	1.2	0.3	1.1	0.7
前年差	1.0	2.2	0.7	0.7	2.3	0.6	0.2	0.9

供給の概要

- 原子力は、前年同様、伊方発電所が全号機停止している。
- 水力は、前年が今年以上に豊水であったことなどから、前年比 89.6%となった。
- 火力は、総需要の減少などから、前年比 98.9%となった。

供給実績

		(百万kWh時、%)		備 考
	電力量	前年比		
原子力	(0) 0	-		出水率 122.1% (25年10月出水率 159.7%)
水 力	(15) 363	89.6		
火 力	(80) 1,940	98.9		
新工ネ	(5) 126	143.3		
発受電計	(100) 2,429	99.0		
その他	28	-		
供 給 計	2,400	97.7		

注1. ()内は構成比

注2. 四捨五入の関係で、合計が合わないことがある

(参考3) 各県別の需要状況

		(百万kWh時、%)			
		徳 島	高 知	愛 媛	香 川
販売電力量 計		(97.4) 482	(94.5) 325	(95.1) 684	(95.5) 540

注. ()内は前年比